9/2（木）22-23時
ルーム名：🌍「古民家大学」共和国🌍#6
～重伝建保存地区から考える残したい町並み継承と生き方

このルームでは、広く築50年超以上の日本の伝統的家屋である古民家が、孤立した形や精々2.3軒連続しての「点や線」ではなく、奇跡的に「面」の規模として残っている文化庁認定の「重要伝統的建造物群保存地区（以後「重伝建保存地区」と呼称）」が、全国43道府県101市町村123地区（令和2年12月現在）があるのに鑑み、そこを立ち位置に、多様な「古民家」のリアルな最新情報の共有と意見交換・対話を程度の差こそあるものの関心ある皆様と、楽しく一緒に創って学んで価値形成していく古代ギリシャのアゴラ（開かれた公共広場）のような存在を目指したいと考えます。

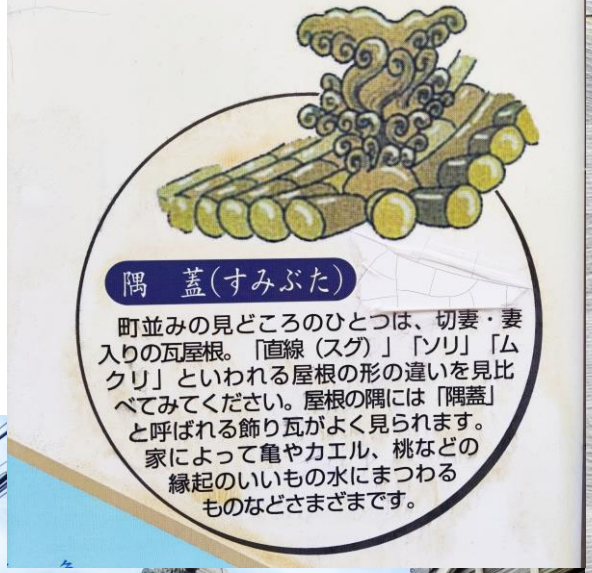
12世紀、欧州のルネサンス期以降に生まれたパリ大学等の大学の起源はこの古代ギリシャのアゴラにあり、古民家再生に関する「理論（＝研究）と実践」を進めようと、ルーム名を「古民家大学」共和国といたしました。

今回は、孤立した古民家と百戸単位で面として形成している重伝建保存地区の間になる十軒程度の規模である三重県伊勢市の「河崎地区」さんをレポートし、議論することにいたしました。

尚、ルームは当面、古民家で最も大事な構成要素である「木」に因み、毎週木曜日（午後10時～11時）に設定いたします。

【伊勢河崎商人館～伊勢市河崎2丁目界隈の散歩道】
江戸時代から300年余りの歴史がある老舗の酒問屋「小川酒店」で、600坪の敷地に7つの蔵と母屋等があり、国の登録有形文化財にも登録。そのほかにも京都裏千家の今日庵の写しのお茶室のほか、2か所の展示室やイベントを行う角吾座と川沿いの店舗が入る商人蔵3棟などがあります。

【伊勢河崎商人館】
左は、事務所。右は、正門。近隣に10軒ほど、古民家が現存しています。



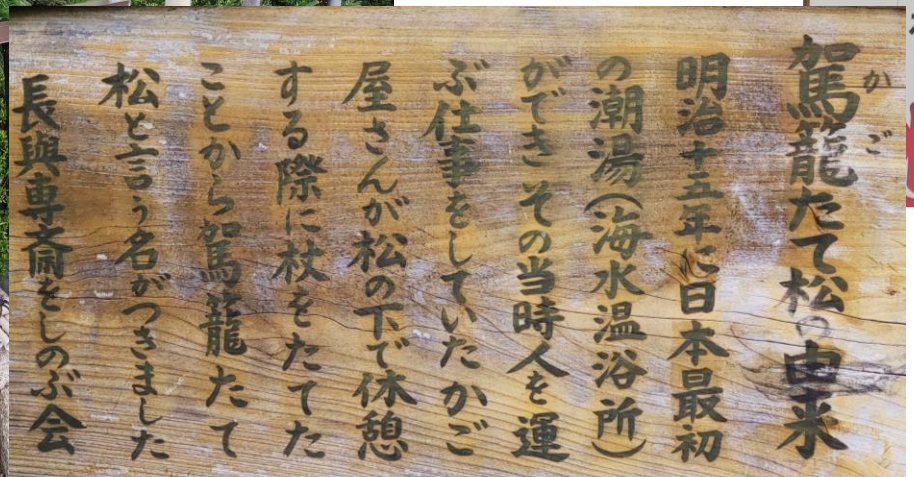
西山家（元酒問屋川元）

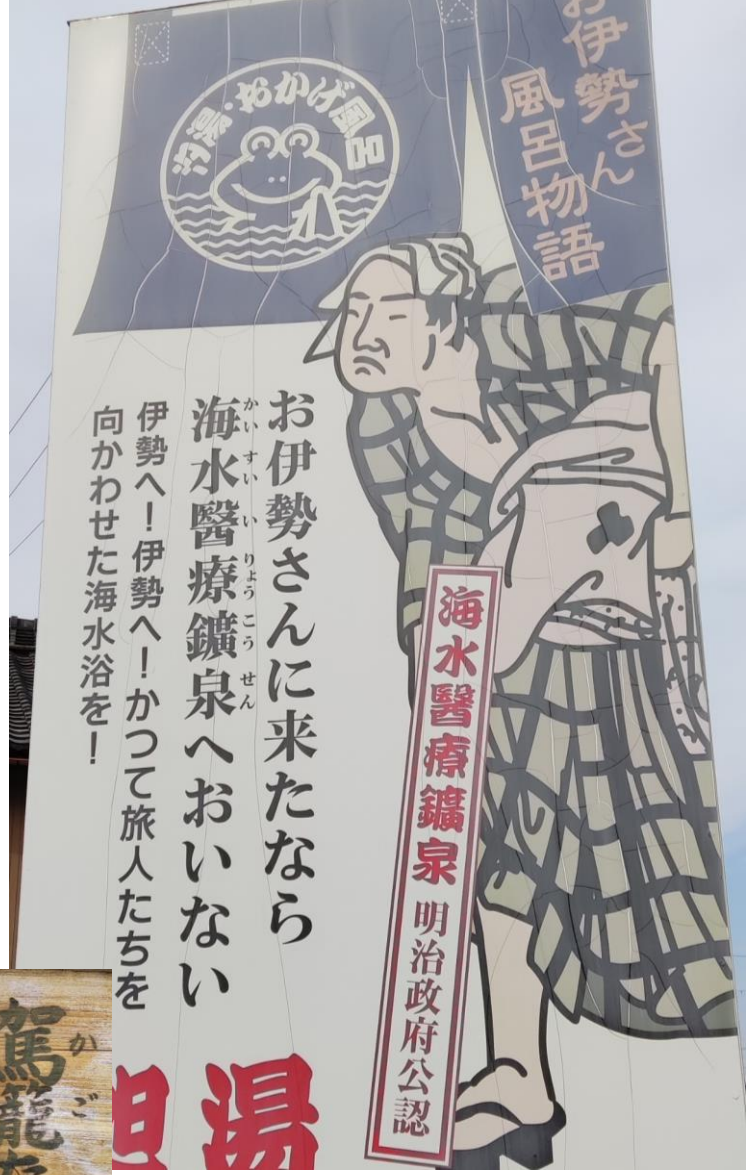
明治２６年（1893）創業。酒問屋「川七」に奉公していた初代が主家の土地建物（明治中期までの建造）を譲り受け、酒問屋「川元」を創業。当主は５代目。母屋の向かい側の石垣は大正１０年（1921）に伊豆石を使って建てた石蔵の壁で、現在外壁だけ残っています。母屋は昭和６１年（1986）出火しましたが、残った外郭部分を活かして修復再建しました。屋根の形は「反り」、隅蓋は亀。川沿いの石積みは保全され、往時の姿が見られます。

ＮＰＯ法人伊勢河崎まちづくり衆

汐湯 おかげ風呂館
湯殿

伊勢市
災害用井戸


駕籠たて松の由来
明治十五年に日本最初
の潮湯（海水温浴所）
ができその当時人を運
ぶ仕事をしていたかご
屋さんが松の下で休憩
する際に杖をたてた
ことから駕籠たて
松と言う名がつきました
長與專斎をしのぶ会


お伊勢さん
風呂物語
汐湯・おかげ風呂
お伊勢さんに来たなら
海水醫療鑛泉へおいない
伊勢へ！伊勢へ！かつて旅人たちを
向かわせた海水浴を！
海水醫療鑛泉 明治政府公認
湯

【今日の結論】

「重伝建保存地区」が政令指定都市なら、十軒程度の古民家群は、「中核都市」というところか。全国にあるこの規模の古民家群を守り手を入れ継承することが、市民に古民家の良さや親しみやすさを身近に感じていただく、大きなきっかけになるのではと考えた。河崎商人館は、市民による保存活用の要望を受け、伊勢市が土地を購入、寄贈された建物を修復整備し、伊勢河崎の歴史文化交流拠点として、再生した施設だった。